

平成 28 年度 事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

第 1 方針

当財団は、犯罪なき繁栄を究極の目的とし、犯罪防止に係る諸活動を行うとともに、各国の刑事司法関係者等との交流を積極的に進めあるいは支援して、協力・協調関係の構築を図る。

このため、以下の事業を計画し推進した。

第 2 公益目的事業

1 研修等支援事業

国連アジア極東犯罪防止研修所（以下「アジ研」という。）等の実施する国際研修及び研修参加者に対する支援を目的とし、平成 28 年度も、意見交換・交流会等、次の事業を実施した。

(1) 平成 28 年度にアジ研で実施された第 163 回国際研修等の国際研修の機会に、研修参加者等と当財団会員等との意見交換・交流会を開催し、研修用資材等を提供した。

また、これらの研修期間中に実施された各種交流行事を支援して市民レベルでの国際相互理解を促進させた。

(2) 当財団本部が参画して、次の意見交換・交流会を開催した。

第 163 回国際研修 (H28 年 5 月 18 日～同 6 月 23 日)

当財団会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

第 19 回汚職防止刑事司法支援研修 (H28 年 10 月 12 日～同 11 月 17 日)

当財団会員等による講義と研修参加者等との意見交換・交流会

第 165 回国際高官セミナー (H29 年 1 月 12 日～同 2 月 10 日)

当財団会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

(3) 当財団支部が主催して、次の会員等との意見交換・交流会を開催した。

第 163 回国際研修 (H28 年 5 月 18 日～同 6 月 23 日)

期成会 (支部) 会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

横浜支部会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

ベトナム法整備支援研修 (H28 年 7 月 4 日～同 15 日)

名古屋支部会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

ベトナム最高人民検察院共同研究 (H28 年 7 月 10 日～同 16 日)

名古屋支部会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

第 19 回汚職防止刑事司法支援研修 (H28 年 10 月 12 日～同 11 月 17 日)

東京みのる会 (支部) 会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

第 165 回国際高官セミナー (H29 年 1 月 12 日～同 2 月 10 日)

広島支部会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

- (4) アジ研の第164回国際研修等参加者を当財団の数支部が分担招待し、その地域での刑事関係施設等を視察・見学させ、当該支部会員等との意見交換・交流会を開催した。

2 講演会等事業

一般市民の刑事司法・犯罪防止への理解，信頼を保持・増進し，また，防犯意識や遵法意識の醸成及び啓発を目的とし，平成28年度も，公開講演会や文書・図書類の配布等，次の事業を実施した。

(1) 本部主催講演会等

アジ研の第19回汚職防止刑事司法支援研修の客員専門家による講演会
経営法友会と共催

平成28年10月27日

テーマ：汚職撲滅の世界的潮流

講師：アジ研客員専門家

アジ研の第165回国際高官セミナーの客員専門家による講演会
刑事政策研究会及びアジ研と共催

平成29年1月27日

テーマ：米国少年司法におけるダイバージョン

講師：アジ研客員専門家

テーマ：リヤドガイドライン及びハバナールの成立経緯及び現代的意義

講師：アジ研客員専門家

(2) 支部主催講演会等

大阪支部 平成28年6月2日

テーマ：国際貢献の醍醐味

講師：前アジ研所長

千葉支部 平成28年6月27日

テーマ：更生保護の父金原明善物語

講師：保護司

平成29年1月30日

テーマ：千葉県の犯罪情勢と対策

講師：千葉県警察本部長

埼玉支部 平成28年8月9日

テーマ：100でなければ0ですか

講師：埼玉県教育局社会教育主事

平成28年12月7日

テーマ：家族の愛で夢かなう

講師：保護司

広島支部 平成28年10月24日

テーマ：国連犯罪防止会議

講師：アジア刑政財団理事長

テーマ：英国のEU離脱と児童虐待

講師：広島高検検事長

札幌支部 平成 29 年 2 月 1 日

テーマ：近年の犯罪情勢に思う

講師：札幌高等検察庁検事長

亀龍会（支部）平成 28 年 11 月 12 日及び 13 日 福島支援事業

名古屋支部 平成 29 年 2 月 8 日 名古屋高等検察庁主催

犯罪白書に関する説明会への参加

埼玉支部 平成 29 年 3 月 22 日 川越少年刑務所見学

(3) 国際貢献カレンダーの作成及び配布

犯罪防止活動の重要性の啓発等を目的として、これらに関する標語（例えば「犯罪なき繁栄」は薬物汚染の撲滅から！」など）を掲げた国際貢献カレンダーを各国語（日本語の他 14 カ国語）別に作成し、発展途上国における犯罪防止活動への支援、キャンペーングッズの提供として当該諸国の関係機関に無償で贈るとともに、我が国内の刑事司法関係機関等に無償で配布した。

(4) 手帳「安全な国 日本」の頒布

日本の安全性やそれを支える刑事司法機関等への理解・信頼を深め、犯罪防止活動に資することを目的として平成 27 年度に作成した、内外の刑事司法等に係る統計とその簡略な説明を付記したハンディな手帳「安全な国 日本」について、当財団会員等に配布するとともに、講演会等の機会を通じて希望者に無償又は有償で頒布した。

3 海外関係事業

アジア及び海外の刑事司法関係者、機関等との協力関係を通して、海外での公益目的を達成する事業として、平成 28 年度も、各種刑事司法関係会議等への参加やその開催及びそれらに参加・参画する者等への支援等、次の事業を計画した。

(1) タイ刑政財団とのセミナーの共催（H29 年 1 月 26 日 開催国：タイ）

平成 25～27 年度に引き続き、タイの協力団体（タイ刑政財団）と共催し、タイの刑事司法関係等の専門家・実務家に講演を依頼して、同国に進出している日本企業の関係者一般を対象に、「外国からの投資者へのタイの投資政策」、「タイ政府経済戦略モデル『タイ 4.0』に関する人材管理上の諸問題」をテーマとして、同国におけるコンプライアンスの確立・犯罪防止に関する公開講演会形式のセミナーを開催した。

(2) 他の海外協力団体とのセミナーの共催

インドネシアの協力団体（インドネシア刑政財団）と共催し、上記（1）のセミナーと同様のセミナーを開催すべく、準備を進めた。

(3) フィリピンのモンテンルパ社会復帰センター運営への支援

フィリピンの刑終了者のための社会復帰施設であるモンテンルパ社会復帰センターについては、その設立の当初から名古屋支部が支援しており、平成 28 年度もその運営費の一部をフィリピンの協力団体（フィリピン刑政財団）を通して支援した。

第3 その他の事業

東日本大震災復興支援事業

福島支部では、福島地区の震災復興支援として、避難区域の自主パトロール隊に対し活動費用等について経済的支援等を行うこととしており、平成28年度もこれを計画する予定であったが、諸般の事情から本年度は実施を見送った。

以上